



＝より良い明日を目指して街づくり＝

（ただいま考え中！）

第47号 2014年11月

小田急金森泉自治会街づくり委員会

■火山の噴火

御嶽山が9月27日に噴火し、多くの死傷者が出ました。今回の噴火では私たちの街への影響はありませんでしたが、火山災害に対する備えが必要です。約300年前に起きた富士山の宝永噴火と同様の噴火が起きた場合に、町田市では2～10cm、相模原市では10～30cm程度の降灰があると予測されています。

■火山灰による影響と対応

火山灰は細かい粒子状で、表面はガラスの破片のように尖っています。火山灰をできる限り吸い込まないようにしましょう。外出はなるべく避け、屋外で作業する際は防塵マスク、防塵メガネを使用しましょう。コンタクトレンズの使用は危険です！

電気機器の内部に火山灰が入るとショートして故障します。できる限り使用を取りやめ、ラップ等でくるんで火山灰が入らないようにしましょう。自動車もフィルターが詰まる等のトラブルの他、路面はスリップしやすく危険性が高まります。また、広域的な停電や断水が発生する可能性がありますので、備蓄品の確認が必要です。

火山灰が10cm積もった上に雨が降ると、1㎡あたり180～280kgの重さになり、木造住宅の屋根が重みで壊れる恐れがあります。また、雨樋～排水溝が詰まらないように注意が必要です。雨樋の縦樋を一部取り外す等して、地下の排水管に火山灰が流れ込まないようにしましょう。

関東地方に広く見られる関東ローム層は、富士山・箱根山等の火山灰の堆積したものです。時間が経てば土となりますが、必要に応じて除去することになります。宅地の火山灰は市環境資源部が運搬・処分、道路の火山灰は市建設部が除去・運搬することとなっています。

【街づくりに関するお問い合わせは】 2班 船橋

tel : 042(795)9423/E-mail : adn75950@rio.odn.ne.jp へお願いします。